

技術系職員のためのコミュニケーションセミナー（オンライン）

～やさしい日本語&異文化理解編②～（オンライン研修）報告書

【開催日時】 令和6年12月5日（木） 14:00～15:30

【開催場所】 WEB（Zoom）

【講師】 松岡里奈（大阪大学日本語日本文化教育センター 特任講師）

【参加対象者】 大学の技術職員、技術支援員（パート、派遣等含む）

【参加者】 38名

【主催】 大学連携研究設備ネットワーク

【共催】 マテリアル先端リサーチインフラ

【企画】 技術英語研修 WG

【目的】 大学や研究機関のグローバル化に伴い、技術職員が留学生や海外研究者の対応を行なう機会が増している。今回は、英語だけではなく日本語を活用することで、技術系職員と外国人研究者・留学生とのコミュニケーションを円滑にし、より良い関係を構築するためのスキルを学ぶ。

【プログラム】

14:00～14:05 講師紹介

14:05～15:30 講演・質疑応答

「技術系職員のためのやさしい日本語（書き言葉）と異文化理解の基礎

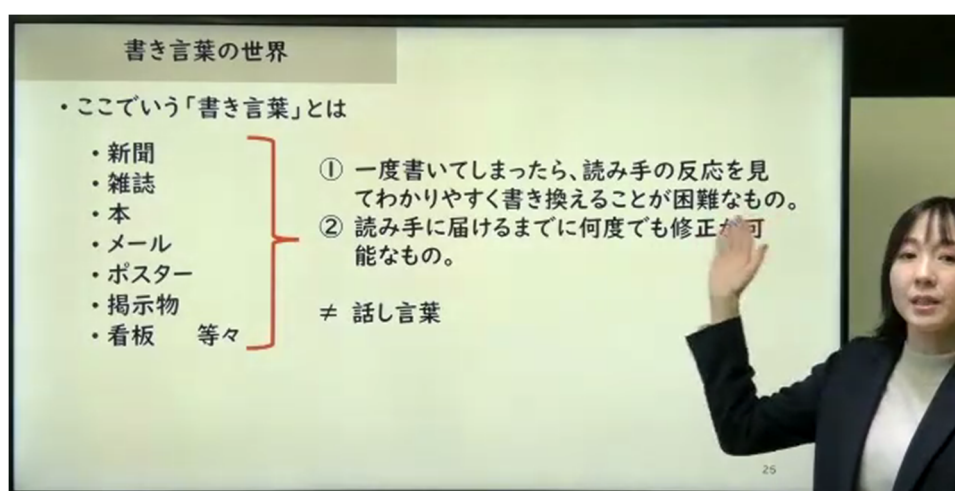
【報告】

令和6年12月5日に「技術系職員のためのコミュニケーションセミナー（オンライン）～やさしい日本語&異文化理解編②～」を開催しました。本研修は、技術職員と留学生・外国人研究者とのコミュニケーションをより円滑化するために、技術職員の英語能力を上げる以外の手段として、調整を加えた日本語を介したコミュニケーションの習得を目指したものです。また、コミュニケーションにおけるすれ違いの原因ともなりうる異文化への気づきを得ることで、お互いを尊重し合える環境を醸成することを目指した“異文化理解”についても学ぶことができる内容としました。今回は、11月に実施した“やさしい日本語の基礎話し言葉編”に続いて、書き言葉に注目してやさしい日本語を学びました。書き言葉は、話し言葉と違い「読み手の反応を見てわかりやすく書き換えることが困難」であるが「読み手に届けるまでに修正が可能」といった特徴があるため、読者の想定が重要になります。研修では、安全衛生に関するポスターや留学生宛のメールを題材に書き言葉のやさしい日本語の作り方を学びました。さらに、異文化理解においては、日本と諸外国の平均的な価値観を比較することで「世界において日本とはどういう国だと位置づけることができるか」につい

て学びました。これは、留学生や外国人研究者との関わりにおいて、互いの差異を認め合い、受け止めていくための基礎となる見識であり、構成員全員が居心地のいい研究機関を形成する基盤となると考えられる。

研修後のアンケートでは、「話し言葉は気にするが、書き言葉もやさしい日本語があるとは初めて気づかされ、良かったです。」「そもそも日本文化を正しく理解してないと異文化理解はさらに難しいなという気がしました。」といった声があがり、本研修が、技術職員の普段の業務におけるコミュニケーションに新しい気づきを与えられたことが伺えました。

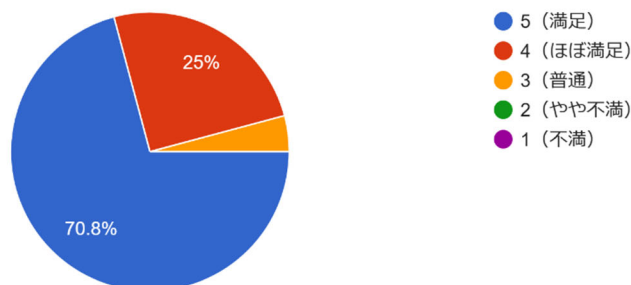
2月に開催されるオンサイト研修ではより実践的なスキルアップトレーニングに取り組む予定です。皆様のご参加をお待ちしております。



【アンケート結果】

研修の満足度

研修の満足度
24件の回答



研修の良かった点をご記入ください

- 実際に、考えてチャットに書き込み、他の人の意見も見ながら考えられるところです。
- 話し言葉は気にするが、書き言葉もやさしい日本語があるとは初めて気づかされ、良か

ったです。

- ・ 具体例があり、また実践的だと思いました。
- ・ 非常に丁寧で分かりやすかったです。内容もさることながら、ひとつひとつこちらに質問して下さり、こちらが考える時間があったことで受け身にならずに受講出来ました。工夫されているのだなと感心致しました。文化の話も興味深かったです。日本人のことを知っている様で、知らないものですね。諸外国と比べる事で日本と日本語についての理解を深める事ができました。
- ・ 相手が日本語でメールを書いた場合日本語の学習意欲があると判断する点が新鮮でした。
- ・ 各自にやさしい日本語への書き換えを考えさせるところ
- ・ 第1回の話し言葉編と同じく、具体的な事例紹介、やさしい日本語のルールの説明、参加者同士のチャットでの意見の出し合い、全てが良かったです。セミナーの時間もピッタリ終わっていただいて助かります。
- ・ やさしい日本語について理念と技術的な具体性の両方がバランスよく含まれた講義だと思いました。
- ・ やさしい日本語の書き方について知ることができた
- ・ やさしい日本語を具体例に沿って紹介されたので、わかりやすかった
- ・ 良い例、悪い例を示していただいたので、とても分かりやすいと思いました。オンラインだけれどもチャットでの参加型であった点がとても良かったと思います。先生自身がスライドと一緒に画面に映っていたので、先生の熱量や、ボディランゲージを見ることが出来た事が、内容が理解しやすくなる一助となっていたと感じました。
- ・ とても分かり易く教えて頂き、理解し易かったです。すぐに実践できそうです。
- ・ 時間を超過していたが、質問に答えていただいた
- ・ メールの内容についてやさしい日本語で変換したところ、実践的ですぐに役立つそうです
- ・ 日本の価値観を海外と比較できた事がとても勉強になりました。
- ・ アンケート結果により、自分が思っている日本のイメージとは違った点がわかったこと。
- ・ ポスターなど、具体的に沢山の例を見られて分かり易かった。
- ・ 具体例を交えた表現方法など、とても参考になりました。
- ・ 実例を使っただけの説明がとてもわかりやすかったです。時間の～を使わないほうがよい、など気づかなかったこともいろいろ知ることができて良かったです。
- ・ なかなか気づかない点を教えてもらい、勉強になりました。
- ・ 日本語でコミュニケーションをとるという、今までにない切り口の講習会で斬新でした。
- ・ 外国人に分かりやすい日本語というのが理解できた

- ・ 講義形式と書いていましたが、チャットを活用していて参加型なのが良かったです。
- ・ やさしいとは、具体的にどう考えることなのか、どうすることなのかを掴めた気がして良かったです。あと、そもそも日本文化を正しく理解してないと異文化理解はさらに難しいなという気がしました。

今回の研修はご自身の業務にどのように役立ちそうですか？

- ・ そんなに留学生対応はないのですが、そのときのために勉強できて良かったです。
- ・ メールで対応することもあると思うので役立てようと思います。
- ・ 留学生の対応が本当に増えて、中には日本語でメールが来る学生もいるので、その人たちは日本語ができるものとして対応していましたが、(できる人もいるが)中にはまだ日本語がそれほど得意ではない人もいるのかもしれないと思いました。また正しい日本語を私自身が使えていないことにも気づき、それがコミュニケーションの障害になっている面もあるのかなと思いました。
- ・ 日本人に対しても分かりやすいメールを作成することを意識できると感じました。また、日本語独特の表現を理解することは、英訳する際にも大いに役に立つと感じました。
- ・ 実は役に立つかどうかはわかりません。
- ・ もしも、相手が日本語でのコミュニケーションを望んでいる場合には気を付けるポイントを学べたかな？と感じます。
- ・ 注意表示の作成時に役立ちそう
- ・ まだ留学生に対してやさしい日本語のメールを送ったり、掲示物を作るようなことはなさそうですが、優しい日本語の知識を日本語の見直しやブラッシュアップに活用したいと思いました。
- ・ 留学生はもちろんのこと、知識が十分ではない学生に部局のルールを伝える仕事をしているので説明の技術に活かせればと思います。
- ・ 留学生等へのお知らせの掲示物等に使用できそう
- ・ 留学生とのメール通信やポスターの作成に活かせそうです。
- ・ やさしい日本語についての内容でしたが、コミュニケーションについて考えるととても良い機会になりました。留学生だけではなく、日本人同士のコミュニケーションにも役立つと思います。
- ・ 留学生に伝わるメールの書き方について、今後実践したい。
- ・ 留学生に対してメールを書くとき、大いに役立つと思います。
- ・ 相手の立場にたった分かりやすいメールを書けそうです
- ・ 留学生だけでなく、「誰にとってもわかりやすい」を意識して掲示などを作る事ができそうです。
- ・ 残念ながら直接的には役に立たないと思います。

- ・ 留学生とのやり取りで役に立つと思う。
- ・ 留学生と接する時に、慌てず対応する事が出来そうです。
- ・ 日本語を学習している留学生とのやり取りに役立ちそうです。
- ・ 留学生と関わる時、翻訳ソフトに頼る事が多いですが、やさしい日本語で書くとうまく翻訳されるという事が分かりました。
- ・ 装置を使いに来ている留学生で、日本語がうまいのだけど時々通じない学生がいるので、実践していきたい。
- ・ 割と日本語を話せる外国人留学生が多く、その方々とのコミュニケーションに活かせると思いました
- ・ 留学生に対する対応だけでなく、日本人同士のコミュニケーションにも活用できそうです。
- ・ コミュニケーションは相手, 方法, 内容によって適切な配慮を加えたうえでおこなう, というコミュニケーションの本質を考えることができ, 今後はその本質を意識したうえで話す, 聞く, 書く, 読むということを心がけたいと思いました。

今回の研修の感想・改善点や、今後の技術系職員のためのコミュニケーション研修に期待することなど、自由にご記入ください。

- ・ やさしい日本語にしたつもりで、まったく出来ていないことに気づけて、良かったです。例文の問題点に気づけても、どう「やさしく」したらよいか、難しかったです。新しい着眼点に気づくことができました。また、楽しく面白い講義でした。
- ・ 特になし
- ・ 日本語をやさしくしていくという発想がなかったので、とても新鮮でした。今後も時間が合えば是非参加したいです。
- ・ 単に外国人に対する日本語の書き方だけでなく、分かりやすさとは何かを基本から考える良いきっかけとなったと思います。当たり前を感じている事を今一度振り返る事ができました。有意義な時間を頂き、本当にありがとうございました。今後もいろいろ積極的に参加したいと思います。参加にはちょっと勇気が要りますが、今回は講義形式という事で参加しやすかったです。
- ・ 技術職員の方々は元々コミュニケーションが得意ではない方が多い気がします。外国の方へのコミュニケーションもですが、同僚など日本人同士のコミュニケーションに関しての意識改革みたいになる研修があればよいなと思います。
- ・ 話し言葉よりも書き言葉の方がやさしい日本語に変換するのが難しいと感じました。今回も楽しい研修、ありがとうございました。
- ・ 今後もコミュニケーションスキル向上のための研修をよろしくお願いいたします。
- ・ スライドに映されていた理念をワードで筆記してたりまとめたりしていましたが、切り替わるペースに一部付いていけないところがありました。ですのでもう少し時間の

余裕があればと感じました。ただ、これについては私のタイピング速度や頭の中で内容をまとめる速度が遅いという問題点もありますので研修の問題とは言えないかもしれません。

- ・ 短いフレーズ集等を作れるといいかもと思いました。毎回、これやさしい日本語？と考えるのは面倒なので、、、
- ・ 異文化理解は国の違いだけでなく、自分を取り巻く地域、性別、年代なども意識する重要性を理解した。
- ・ 普段の業務に忙殺されてしまいがちですが、コミュニケーションについて考える機会となり、とても刺激になっています。また、全国のあちらこちらに「皆さんが居る！」という事が実感できてとても楽しいです。
- ・ 今回も参加させていただきありがとうございました。
- ・ 英語の書き言葉(メール)についても作法などあれば教えてほしい
- ・ 可能であるならばスライド資料が欲しいです (すぐに忘れてしまうので。)
- ・ 日本人同士でも意思疎通が難しいこともあるので、一般的にスムーズなコミュニケーションを取るにはどういう技術が必要なのか、円滑に業務を進めるノウハウ等学べるとありがたいです。
- ・ やさしい英語でのコミュニケーション術
- ・ 何となくは分かっている、実際に表現するのは難しいし、コツがいるのだと感じた。
- ・ 留学生に接する際、コミュニケーションの事例などもあり有効なセミナーだと感じた。
- ・ 後日思い出するための資料などあれば嬉しいです。今後も続けて開催して欲しいです。
- ・ 私は、英語が苦手なのですが、留学生と関わる時はめちゃくちゃな英語でなんとかコミュニケーションをとっています。日本語がほとんど話せない外国人に日本語をどのように教えれば良いのかを知りたいです。
- ・ 1回目が受講できなかったのが残念です。
- ・ 第1回の研修は受講できなかったのですが、もしその時の動画を共有していただけるとありがたいです
- ・ 文化の話も絡めて興味深かったのでまた受講したいです。
- ・ これはこの研修とは少し離れた話なのですが、技術系職員って技術分野によっても文化や考え方が違って、コミュニケーションを取るのに少し戸惑う場合があります。今後は、多様な国の技術者、多様な技術分野の技術職員が協働するにあたり、そのような垣根を越えたコミュニケーションが円滑におこなえるようになるといいな、と期待しています。